

1969(昭和44)年11月創刊

2023(令和5)年 2月13日(月)

14061号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号

TEL: 06-6353-7831

FAX: 06-6353-7832

MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp

WEB: <http://homenikkankinzoku.co.jp/>

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円

鉱工業出荷・総供給12月

前月比マイナス0.7% 4か月連続低下

外需落ち込み 内需は2か月連続上昇 経済産業省

経済産業省はこのほど2022年12月の鉱工業出荷内訳・総供給の概要を発表、出荷は指数92.7(100=2015年季節調整済)、前月比マイナス0.7%と4か月連続の低下となった。内需(国内向け出荷)は前月比0.1%と2か月連続で上昇したが、外需(輸出向け出荷)は同マイナス4.8%と2か月ぶりに低下した。

部材供給不足の緩和が続いたことなどから外需がけん引して回復傾向を示していたが、世界的な金融引き締め、中国経済の減速もあり、12月の外需が低調な動きとなった。22年9月から、それまでの上昇の反動などにより内需が弱く、10月は外需も弱まり、11月もわずかに前月割れ。12月も外需の落ち込みからわずかに前月を下回った。内需は耐久消費財、資本財が上昇、外需では生産財、資本財等が低下した。

出荷水準をみると、12月の指数は内需が91.2、外需が101.4。新型コロナ拡大直前の2020年1月はともに97.1で、外需は拡大以前の水準を超えているが、内需はいまだ低い出荷水準が続いている。

内需の業種別では、12業種中4業種が前月比で上昇。輸送機械工業が前月比4.2%と上昇し、なかでも乗用車、船舶・同機関等が上昇した。次いで寄与が大きかったのはプラスチック製品工業で、なかでも工業用プラスチック製品、プラスチック製日用雑貨・容器類等が上昇した。

外需では12業種中7業種が低下。プラスチック製品工業の工業用プラスチック製品、発泡プラスチック製品等が低下した。

次いで低下したのは生産用機械工業で、なかでも建設・鉱山機械、金属加工機械等が低下した。

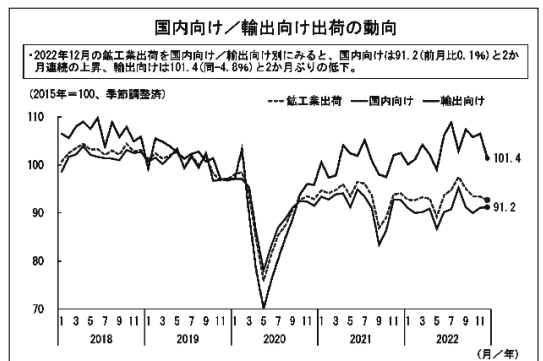
財別分類では、内需で上昇が大きかったのは耐久消費財で、次いで資本財。外需で低下が大きかったのは生産財、次いで資本財等だった。

主要仕向け先では、全ての主要地域向けが前月比低下となった。低下が最も大きいのは中国で、輸送機械工業、化学工業(医薬品除く)等が大幅低下した。

次いで欧州が輸送機械工業、プラスチック製品工業等で低下。米国は、輸送機械工業は上昇しているものの、生産用機械工業等の大幅低下により4か月連続の低下となった。

輸入をみると、指数103.2、前月比マイナス4.0%と2か月連続の低下。業種別では13業種中9業種が低下となり、電気・情報通信機械工業、鉱業等が低下した。

中国ではゼロコロナ政策の終了で経済が活発化するものの、感染再拡大や世界的半導体不足などサプライチェーンの混乱、物価上昇や利上げに伴う為替変動にも注意する必要があるとしている。



国内向け／輸出向け出荷の動向

社会の発展とその未来に
 テクノロジーで対応する

KYOWA

地球にも、人にもやさしい KYOWA のエコ電線

タイシガイセン EM 600V EEF/F

<http://www.kyowadensen.co.jp/>

 協和電線工業株式会社

KYOWA ELECTRIC WIRE INDUSTRY CO., LTD.

〒581-0026 八尾市曙町1丁目7番地

TEL (0729) 91-0818(代) FAX (0729) 91-4470

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎



1月のアルミ概況および2月の見通し (1)

予想レンジ

LME 現物後場買い 2,300-2,700ドル ☀
 スクラップ +10円 (前月最終価格より) ☀
 為替 130円~135円 円安
 (1か月間TTM)

国際概況

前半は中国の新型コロナ感染拡大に対する警戒感、世界景気後退に対する警戒感や米株安などのマイナス材料もあったが、12月の米CPIが事前予想の範囲内ながら物価の落ち着きを示し、次回の米連邦公開市場委員会(FOMC)での利上げ幅は0.25%にとどまるとの見方からドル安、米株の上昇などを好感しUP。

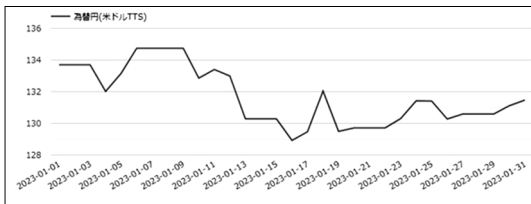
1月15日時点で2,511ドル(セツル)と月初価格か174ドルUPの前半締めとなった。

後半は米公開市場委員会(FOMC)が開始されるなか、米雇用コスト指数の伸び鈍化を受けた利上げ幅縮小期待などのプラス材料あったがドル高・原油安を嫌気してDOWN。

1月末日、後半スタート価格26ドルDOWNの2,577ドル。

前月の経済指標

◆月間のドル/円レート (TTS)
 133.70→131.47 (円)



出典 MIRU

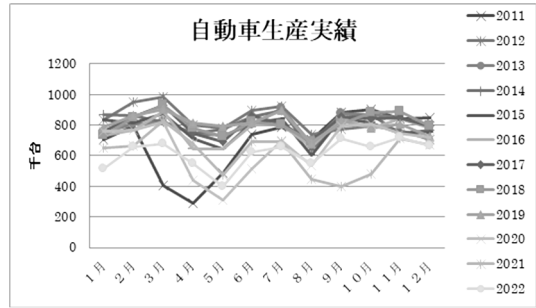
国内指標

◆自動車生産台数

生産動態統計によると12月の自動車生産台数は前年比-1.3%の66万1,012台。輸出は前年同月比-5.8%の33万4,092台。

	10月	11月	12月
生産台数	65万5459台	72万6648台	66万1012台
前年比	+36.1%	+9.1%	-1.3%

◆自動車生産実績



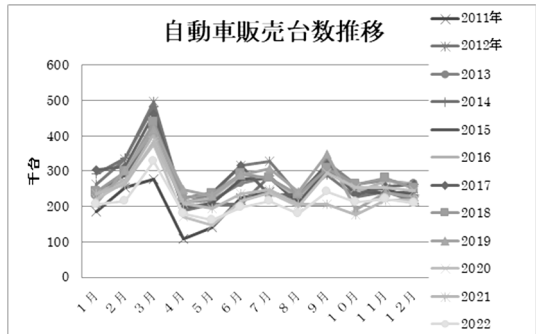
出典 生産動態統計

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると1月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+10.8%の22万9,497台。

	11月	12月	1月
販売台数	22万1541台	20万9090台	22万9497台
前年比	+1%	-4.4%	+10.8%

◆自動車販売台数推移



出典 日本自動車販売協会連合会

◆住宅着工戸数

12月の新設住宅着工は、貸家及び分譲住宅は増加したが、持家が減少したため、全体で前年同月比1.7%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比0.5%の増加となった。

○新設住宅着工戸数は67,249戸。前年同月比1.7%減、3か月連続の減少。

○新設住宅着工床面積は5,328千㎡。前年同月比6.6%減、4か月連続の減少。

○季節調整済年率換算値では846千戸。前月比0.5%増、先月の減少から再びの増加。

	10月	11月	12月
新設住宅着工	7万2981戸	7万2372戸	6万7249戸
前年比	-5.4%	-1.4%	-1.7%

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>

(次号へ続く)

2022年 第3四半期決算
前年同期比 36.8%減益

販売量減少、原材料高騰
タツタ電線

タツタ電線株式会社(山田宏也社長)はこのほど、2022年度第3四半期の連結決算を発表した。

売上高は前年同期比3.2%増の46,591百万円としたが、電線・ケーブル販売量の減少や原材料価格の高騰などから、経常利益は同39.8%減の1,543百万円、純利益は同36.8%減の1,115百万円と減益となった。

主要原料の銅の国内建値は、期間平均で前年同期を上回る水準。インフラ電線の需要は前年同期を下回る水準で推移する一方、産業機器電線分野では一部向け

先での需要回復が続いた。機能性フィルムの主要用途スマートフォンの販売量は世界的な物価上昇、中国の景況悪化・ロックダウンの影響などにより低迷し、素材需要は製品販売の低迷に加え、半導体その他の部材不足、ユーザーの在庫調整などによる影響を受けた。

電線・ケーブル事業セグメントでは、インフラ電線が銅価格高止まりによる買い控えの継続と原材料価格高騰による販売価格見直しに伴う競争激化により、前年同期の販売量を11.0%下回った。

一方、売上高は、銅価格が上昇したことや、産業機器電線では一部向け先での需要回復が続いたことなどにより、前年同期比8.5%増の32,415百万円。

営業利益は販売価格見直しなどに努めたものの、販売量の減少、原材料価格の高騰、販売価格見直しの浸透遅れ、銅価変動影響等により同68.8%減の168百万円となった。電子材料事業セグメントでは、主力機能性フィルムの需要は、スマートフォンの販売低迷や中国ロックダウン、半導体等の部材不足、ユーザーの在庫調整などにより同10.1%減少し、売上高は同9.4%減の12,438百万円となった。

その他事業セグメントでは、センサー、医療機器部材、環境分析の各事業で需要回復が継続し、売上高は同13.3%増の1,756百万円となった。



鉛滓・鉛管板屑

株式会社 國樹商店

〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中 1-16-8
電話 06-6649-0045 代表
〒556-0011 工場 大阪市浪速区稲荷 1-11-5
電話 06-6561-7331~2

銅・非鉄原料は

ホームページはこちら▶ www.kimura-metal.co.jp

QRコード

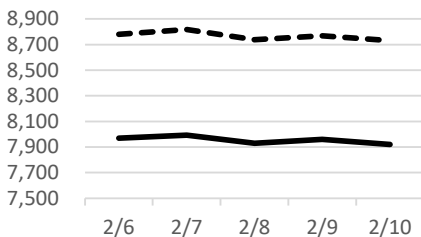
木村金属株式会社
06-6552-7840

大正区

金銀山元建値週間推移

2月6日~2月10日

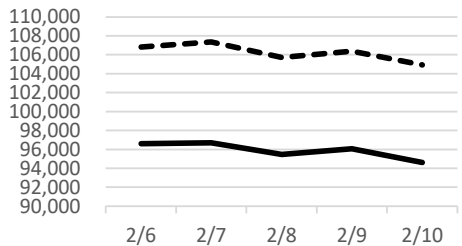
金山元建値週間推移



	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10
金小売	8,779	8,818	8,737	8,769	8,730
金建値	7,970	7,992	7,930	7,959	7,919

1月平均	建 値	小 売
金(¥/g)	7,988.57	8,825.94
銀(¥/kg)	101,270	112,050

銀山元建値週間推移



	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10
銀小売	106,810	107,360	105,710	106,370	104,940
銀建値	96,600	96,690	95,450	96,050	94,610

故銅市況

10日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の9,006.00ドルより52.50ドル安の8,953.50ドル。直物の終値は、前営業日の8,863.75ドルより88.49ドル高の8,952.24ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,033.00ドルより51.50ドル安の8,981.50ドル。3か月物の終値は、前営業日の8,892.50ドルより90.50ドル高の8,983.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の3月限は、前営業日の403.55セントより6.15セント高の409.70セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の3月限は、前営業日の6万8,200元より280元高の6万8,480元。

10日の東京為替市場TTSレートは、前日の132.64円より0.07円の円安ドル高、1ドル=132.71円。

故銅直納問屋筋の平均値頃感（単位は千円）

（2月3日更新）

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1054~1059、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1019~1024、並銅は984~994、込銅（高品位=約97%）は974、セパは708~713。コーベルは要り用筋で649、それ以外は634ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋659、それ以外629~639どころの値頃。並青銅鋳物削粉は861~866どころ。

小口市中相場（1トン前後）では、ピカ線が1034~1054、上銅新くずが999~1019、普通上銅が974~994、2号銅線が966~986、並銅が964~984、込銅（94-97%）が912、込銅（90-93%）が914、下銅が464~514、セパが673~708、コーベルが589~634、黄銅棒地が584~629、黄銅削粉が579~624、黄銅ラジが544~552、交叉ラジが569~626、黄銅銅鋳物が551~558、送りが317~336、上青銅鋳物が858~878、並青銅鋳物が838~853、上青銅鋳物削粉が853~873、並青銅鋳物削粉が828~848どころ。

日刊金属

外電配料
（税込）

6 ヵ月：46,200円

12 ヵ月：92,400円

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

（1トン程度・置場・現金・キロ当たり円）

関東地区（2月前半）

2S=215円~235円、63S=199円~250円、アルミホイール(1P)=116円~230円、ビス付サッシ=85円~94円、エンジンコロ=90円~98円、込合金(機械鋳物)=86円~94円、缶プレス(ソフト)=51円~61円。

関西地区（2月前半）

2S=233円~235円、63S=235円~270円、印刷版=225円~230円、アルミホイール(1P)=221円~234円、ベースメタル=139円~143円、機械鋳物=96円~99円、ダライ粉=80円~83円、ビス付サッシ=78円~113円、缶プレス=73円~78円。

10日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は8,953.50ドル。この値と10日の東京外国為替市場USDドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の123万2,000円より6,000円安の122万6,000円。この日、電気銅建値は122万円に据え置かれた。

為替動向

9日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0040ドルユーロ高ドル安、1ユーロ=1.0760ドル~1.0770ドルで推移した。この日、米国の長期金利が低調だったことを受け主要通貨に対しドルが売られた。アジアや欧米の株式相場も堅調に推移、投資家のリスク回避姿勢が後退しドルを売る動きにつながった。

英ポンドも対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0090ドルのポンド高ドル安、1ポンド=1.2160ドル~1.2170ドルで推移した。英中銀高官の「（インフレに対し）力強い行動が果たす役割がある」との発言が伝えられたことがポンド買いを促した。

9日のニューヨーク外国為替市場で円相場は続落した。前日と比べ0.10円の円安ドル高、1ドル=131.50円~131.60円で取引を終えた。この日の午後、公表された米国の30年物国債入札が低調だったことから、債券の需給が緩和するとの受け止めが拡がり長期金利が上昇、これに呼応し円が売られた。

10日早朝の東京外国為替市場でも円相場は下落した。8時30分、前日17時と比べ0.30円の円安ドル高、1ドル=131.44円~131.45円で推移した。米国では労働市場の強さを背景に金融引き締めが長期化すると観測が拡がっており、9日の債券市場でも長期金利が上昇、金利差の拡大を見込み円売りドル買いが優勢になっていた。円は対ユーロでも下落。8時30分、前日17時と比べ0.38円の円安ユーロ高、1ユーロ=141.14円~141.17円で推移した。

鉛屑・半田屑

雨滝商事株式会社

広陵リサイクルセンター

代表取締役 雨滝 卓

奈良県葛城郡広陵町大字三吉 27-1

TEL/FAX (0745)60-1613 携帯 090-2115-4918

高価買取ります



LME銅相場は反落 直物終値は8,952.24
 COMEX銅相場は反発 SHFE銅相場は続伸
 LME非鉄相場は軟調も午後はドル安を反映、全面高に
 亜鉛直物終値は3,152.00ドル アルミ直物終値は2,462.85ドル



10日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、2月9日入電の9,006.00ドルより52.50ドル安の8,953.50ドル。反落して0.58%安。この週1.18%の下落。2月に入って1.34%の下落。3か月物の前場売値は、2月9日入電の9,033.00ドルより51.50ドル安の8,981.50ドル。反落して0.57%安。この週1.03%の下落。2月に入って1.36%の下落。

LME公認倉庫の現地2月8日銅在庫は、前日の6万5,100トンより625トン減の6万4,475トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、2月限が、2月9日入電の404.35セントより6.20セント高の410.55セント。反発して1.53%高。この週1.05%の上伸。2月に入って2.91%の下落。中心限月に当たる3月限は、2月9日入電の403.55セントより6.15セント高の409.70セント。反発して1.52%高。この週1.00%の上伸。2月に入って3.05%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、2月限が、2月9日入電の6万8,240元より80元高の6万8,320元。2営業日の続伸で0.57%高。この週0.44%の下落。2月に入って1.51%の下落。中心限月に当たる3月限は、2月9日入電の6万8,200元より280元高の6万8,480元。2営業日の続伸で0.69%高。この週0.55%の下落。2月に入って1.40%の下落。

錫は反落

LME錫相場の前場売値は、直物が、2月9日入電の2万8,050.00ドルより375.00ドル安の2万7,675.00ドル。3営業日ぶりの反落で1.34%安。この週3.40%の下落。2月に入って5.38%の下落。3か月物の前場売値は、2月9日入電の2万8,150.00ドルより400.00ドル安の2万7,750.00ドル。3営業日ぶりの反落で1.42%安。この週3.48%の下落。2月に入って5.29%の下落。

LME公認倉庫の現地2月8日錫在庫は、前日の3,180トンより25トン増の3,205トン。

鉛はまちまち

LME鉛相場の前場売値は、直物が、2月9日入電より横ばいの2,130.00ドル。この週0.78%の上伸。2月に入って0.56%の下落。3か月物の前場売値は、2月9日入電の2,121.00ドルより4.00ドル高の2,125.00ドル。2営業日の続伸で2.11%高。この週0.09%の下落。2月に入って1.16%の下落。

LME公認倉庫の現地2月8日鉛在庫は、前日の2万2,175トンより25トン減の2万2,150トン。

亜鉛は反落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、2月9日入電の3,202.00ドルより22.00ドル安の3,180.00ドル。反落して0.69%安。この週5.39%の下落。2月に入って6.72%の下落。3か月物の前場売値は、2月9日入電の3,158.50ドルより6.50ドル安の3,152.00ドル。反落して0.21%安。この週5.25%の下落。2月に入って6.80%の下落。

LME公認倉庫の現地2月8日亜鉛在庫は、前日の1万9,425トンより1,950トン増の2万1,375トン。

アルミは続落 アルミ合金はまちまち 北米特殊もまちまち

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、2月9日入電の2,469.00ドルより44.50ドル安の2,424.50ドル。7営業日の続落で7.14%安。この週5.29%の下落。2月に入って4.30%の下落。3か月物の前場売値は、2月9日入電の2,508.00ドルより41.00ドル安の2,467.00ドル。7営業日の続落で6.69%安。この週4.90%の下落。2月に入って4.16%の下落。

LME公認倉庫の現地2月8日アルミ在庫は、前日の49万5,750トンより万5,200トン減の49万0,550トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、2月9日入電の2,090.00ドルより2.00ドル高の2,092.00ドル。2営業日の続伸で0.14%高。この週横ばい。2月に入って0.05%の下落。3か月物の前場売値は、2月9日入電より横ばいの2,150.00ドル。この週横ばい。2月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、2月9日入電の2,333.00ドルより3.00ドル高の2,336.00ドル。20営業日の続伸で13.40%高。この週0.30%の上伸。2月に入って0.56%の上伸。3か月物の前場売値は、2月9日入電より横ばいの2,389.00ドル。この週横ばい。2月に入って横ばい。

ニッケルは反落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、2月9日入電の2万7,300.00ドルより250.00ドル安の2万7,050.00ドル。反落して0.92%安。この週7.08%の下落。2月に入って7.99%の下落。3か月物の前場売値は、2月9日入電の2万7,550.00ドルより225.00ドル安の2万7,325.00ドル。反落して0.82%安。この週7.06%の下落。2月に入って7.90%の下落。

LME公認倉庫の現地2月8日ニッケル在庫は、前日の4万9,188トンより936トン減の4万8,252トン。

LME公示価格(US\$)／2月8日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	9,006.00	28,050.00	2,130.00	3,202.00	2,469.00	2,090.00	2,333.00	27,300.00
	前営業日比	141.00	1,000.00	61.00	65.00	▲ 3.50	1.00	2.00	490.00
先物	公示価格	9,033.00	28,150.00	2,121.00	3,158.50	2,508.00	2,150.00	2,389.00	27,550.00
	前営業日比	141.50	1,050.00	40.00	63.50	▲ 6.00	0.00	0.00	445.00

海外非鉄金属相場

(2月10日 入電・現地 2月9日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, ニッケル) and rows for current prices, previous day, and high/low prices.

Table for NY Commodity Market (NYコメックス相場) showing prices for Gold, Silver, Platinum, and Palladium.

Table for Procurement Prices (採算価格) showing prices for various metals like Copper, Tin, Lead, Zinc, Aluminum, and Nickel.

フリー・マーケット

Table for US Producer Prices (米国生産者価格) for Gold, showing prices for EH and HH companies.

Table for NY Market (NY相場) showing prices for Copper and Tin.

Table for London Market (ロンドン相場) showing prices for various metals like Antimony, Bismuth, Cadmium, etc.

Table for KLT Market (KLT M錫) showing prices for Tin in MYR/KG and USD/KG.

Table for LME Inventory (LME在庫) showing current and change in inventory for Copper, Tin, Lead, Zinc, and Aluminum.

Table for Shanghai Inventory (上海在庫) showing current and change in inventory for Copper, Aluminum, Zinc, and Nickel.

Table for LME Pre-market (LMEプレマーケット) showing prices for Copper, Tin, Lead, and Aluminum.

Table for Shanghai Market (上海相場) showing prices for Copper, Tin, Lead, and Nickel.

Table for COMEX and Shanghai prices, including exchange rates and prices for various metals.

非鉄金属製品相場

(2月10日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線(現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)	
銅小板2.0ミリ	1520	1475	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F	
建築用0.3ミリ	1570	1525	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6	56~58
銅大板2×1×2	1650	1675	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0	99.5~102
銅管(ベース)	1680	1675	鉛板1.5ミリ	570	570	3C×1.6	104~107
水通水管(m当たり)13ミリ	1590	1585	鉛線3ミリ	465	465	3C×2.0	152~155
銅棒25ミリ	1430	1445	軽圧品	大阪	東京	I V	
銅条1.5×100	1485	1490	アルミ箔0.007ミリ	1115	1135	1.6mm	31.9~33.9
銅線0.9ミリ	1510	1505	〃 小板1ミリ	750	765	5.5sq	87~92.5
銅帯6×50	1440	1445	〃 大板1ミリ	730	755	14sq	217~231
銅平角線	1710	1675	〃 5052板	785	805	CV-T	
黄銅小板2.0ミリ	1245	1235	〃 6061板	1315	1335	600V 3C×38	1654~1758
〃 0.3ミリ	1275	1265	〃 2017板	1240	1365	600V 3C×60	2547~2707
黄銅大板2×1×2	1395	1415	〃 線3ミリ	730	750	600V 3C×100	4279~4548
黄銅管	1720	1715	〃 快削棒50ミリ	950	970	6kV 3C×38	2653~2815
復水器用黄銅管	1630	1625	〃 合金棒50ミリ(17S)	935	950	6kV 3C×60	3705~3931
黄銅棒快削25ミリ	1010	1010	〃 合金棒50ミリ(56S)	890	910	CVV (関西-関東)	
六角棒	1040	1040				3C×2	129-132
四角棒	1070	1070	貴金属(一般小口向け)			4C×2	173-177
鍛造用	1050	1050	白金(グラム)		◆4558	6C×2	246-252
ネーパル	1150	1150	パラジウム(グラム)		7942	7C×2	281-288
高力	1150	1150	金(グラム)		◆8730	合金鉄 12月輸入単価 (CIF)	
黄銅線6ミリ	1420	1415	銀(キログラム)		◆104940	フェロマンガン2%以上炭素含有	206
黄銅平角線ロール仕上	1620	1625				〃 その他	235.1
黄銅条1.5×100	1240	1250	レアメタル輸入価格	12月通関 (CIF)		フェロシリコン55%以上	324
リン青銅板一般用1.0ミリ	2730	2920	金属ケイ素(99.99%未満)		446	フェロクロム4%以上炭素含有	225.2
〃 バネ用0.3ミリ	2970	3170	モリブデン酸化物		4186	フェロモリブデン純分60%以上	4132
リン青銅棒25ミリ	2890	3100	タンタル		74263	フェロバナジウム	3436
リン青銅線3ミリ	3210	3420	マグネシウム		475	フェロニッケル33%未満	679.7
洋白板一般用1.0ミリ	3910	4060	コバルト		7942		
〃 バネ用1.0ミリ	4060	4220	インジウム		27162	電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326

減摩合金	2月1日改定	銅合金地金	2月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	4810	BC 1種	1275
2種	4670	2種	1605
3種	4520	3種	1695
4種	3965	6種	1380
5種	3810	7種	1495
7種	1330	YBSC 3種	1125
8種	1155	LBC 3種	1640
9種	1000	PBC 2種	1715



<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(2月10日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		36,000 ~ 40,000(1)	
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場		
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値
1 号 銅 線	1092	1085	電 気 銅	◎ 1189	◎ 1184	◎ 1191	◎ 1186	山元建値	7,919(10)
2 号 銅 線	1050	—	電 気 亜 鉛	444	438	444	438	() 実施日	94,610(10)
上 銅 (新 切)	1063	1055	蒸 留 亜 鉛	432	426	432	426	電気亜鉛	466(9)
雑 ナ ゲ ッ ト	921	915	再 生 電 気 銅	357	351	357	351	錫(99.99%)	5,200(1)
並 銅	1005	984	再 生 電 気 亜 鉛 (98%)	310	304	310	304		
下 銅	986	956	電 気 鉛	317	314	317	314		
銅 削 粉	980	959	再 生 鉛 1 号	294	284	290	285		
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	299	295	295	291		
新 切 黄 銅 セ バ	814	825	錫 1 号	◎ 3950	◎ 3900	◎ 3950	◎ 3900		
コ ー ベ ル	782	783	ア ン チ モ ン	1750	1700	1750	1700		
黄 銅 棒 地	780	771	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用)	3700	3650	3700	3650		
黄 銅 削 粉	774	767	コ バ ル ト	5800	5500	5800	5500		
並 黄 銅	700	665	セ レ ニ ウ ム	2700	2500	2700	2500		
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	623	611	ビ ス マ ス	1350	1250	1350	1250		
交 叉 ラ ジ エ タ ー	623	616	カ ド ミ ウ ム	600	550	600	550		
黄 銅 鋳 物	705	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	470	450	470	450		
山 送 り (55%)	415	—	ア ル ミ 地 金 99.70 %	◎ 368	◎ 364	◎ 370	◎ 366		
上 青 銅 鋳 物	862	—	ア ル ミ 二 次 地 金 99 %	328	323	328	323		
並 青 銅 鋳 物	860	836	〃 90 %	298	293	298	293		
上 青 銅 鋳 物 削 粉	855	—	ア ル ミ 二 次 合 金 ADC12	435	430	438	433		
並 青 銅 鋳 物 削 粉	845	821	鋳 物 用 C2BS	459	454	461	456		
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	1085	青 銅 合 金 地 金 3 種	1605	1595	1660	1650		
〃 (鋳 物)	976	—	〃 6 種	1300	1290	1350	1340		
リ ン 青 銅 削 粉	894	874	ハ ン ダ 錫 60 %	3220	3180	3240	3210		
新 切 洋 白 (電 子 材)	906	881	〃 50 %	2785	2735	2805	2775		
新 切 亜 鉛	233	233	〃 40 %	2410	2350	2365	2335		
ダ イ カ ス ト く ず	198	198	減 摩 合 金 2 種	4625	4595	4630	4600		
亜 鉛 ド ロ ス	177	185	〃 4 種	3920	3895	3925	3895		
上 鉛	149	147	〃 7 種	1275	1225	1275	1225		
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	32	32	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ス テ ン レ ス 新 切		90	85		
活 字 鉛	134	131		〃 グ ラ イ 粉		75	70		
新 切 ア ル ミ 1 級	260	259		高 耐 食 ス テ ン レ ス SUS316		280	280		
新 切 サ ッ シ 1 級	260	257		耐 熱 ス テ ン レ ス SUS310		500	500		
新 切 合 金 1 級	245	237		13ク ロ ー ム 新 切		23	24		
機 械 鋳 物 1 級	185	192		ハ イ ス 9 種		255	255		
ビ ス 付 サ ッ シ P	206	200							
合 金 削 粉 P	125	136							
込 ガ ラ P	118	125							
カ ン ・ バ ラ	163	156							



非鉄金属材料相場面
PW:nikkin202302